

金融論

16.4.13

- はじめに：金融をみる目を養おう

(安孫子)

1. 講義の構造

日本の金融の現状をバランスよく知るために、金融論の基礎のほか、日本の金融制度、金融市場、金融の戦後史とそれから得られる教訓などについても理解を深めていきます。皆さんが社会に入って役に立つ金融の知識を身につけることを目標にしています。

2. 制度・市場・歴史の講義計画(回目まで)

はじめに：金融を見る目を養おう

日本の資金循環：金融を概観する重要なマクロ統計

直接金融と間接金融：日本の金融における貸出の重要性

日本の金融機関：業態ごとの特徴

市場型金融取引と相対型金融取引

主な金融市場 1：金融市場の類型

取引所取引と OTC 取引

主な金融市場 2：短期金融市場

主な金融市場 3：長期金融市場

発行市場と流通市場

主な金融市場 4：株式市場

主な金融市場 5：外国為替市場

新しい金融市場 1：金融派生商品市場

先物、オプション、スワップ

新しい金融市場 2：資産担保証券など

現在の金融機関に対する監督・規制の体系

戦後の金融の歩み 1：高度成長期の金融業の姿 護送船団方式

戦後の金融の歩み 2：金融自由化の原動力

二つのコクサイ化

戦後の金融の歩み 3：バブルの発生

戦後の金融の歩み 4：バブルの崩壊

戦後の金融の歩み 5：不良債権の発生

戦後の金融の歩み 6：早期是正措置の導入

戦後の金融の歩み 7：97～98年の金融不安

セーフティネットの拡充

3. 自己紹介

大阪大学の以下のホームページを参照 <http://www2.econ.osaka-u.ac.jp/~abiko/>

いずれは近畿大学のサイトに移設する予定です(移設後には毎回のレジュメを掲載予定)

研究室は B館 5階の 5A、メールアドレスは abiko@msa.kindai.ac.jp

オフィスアワーは 月曜日の 3 限目

4. 参考文献

黒田晁生著『入門金融』(第 3 版) 東洋経済新報社、2002 年

高月昭年著『金融の基本』(新版) 日経文庫、2002 年

このほか、毎回配布するレジュメの中でテーマごとの参考文献を適宜紹介する予定です

5. 金融に関する情報の集め方

新聞、テレビ、インターネット、雑誌等の有効活用 …… ただし鵜呑みにはしないこと

・日本経済新聞、WBS (テレビ大阪)、週刊「東洋経済」、週刊「エコノミスト」などが有名

・インターネットでも、ニュースや経済時系列データを入手できる

6. 金融機関の機能と業務

資金仲介、リスクの転換 (各種ポートフォリオの作成、情報の生産、メインバンクなど)、決済

7. 日本の金融制度の概要

業態 (都銀、地銀、長信銀、信託、地銀 2、信金、信組、各種組合) の特徴、歴史的経緯

8. 不良債権とは

金融機関のバランスシート、不良債権発生メカニズム

以上